

浄水場整備事業におけるPFI手法の導入 (愛媛県今治市)

取組概要

老朽化した浄水場や、小規模浄水場を廃止し、広域かつ安定的に水を供給するため浄水場を新たに移転更新するにあたり、**DBM方式(PFI事業)**により整備を実施した。

取組の効果

- ・DBO方式ではなく、DBM方式としたことにより、オペレーションを他の施設と合わせて委託することで、**5年契約で約1億円**の委託料の削減ができた。
- ・クリーンセンターのごみ焼却熱により発電した電力で稼働し、**エネルギーの地産地消**と**脱炭素社会**に貢献。

創意・工夫した点

- ・将来の更新や見学者ルートも考慮。
- ・災害時の応援者受入スペースを整備。
- ・市内のごみ焼却施設の発電により電力を賄っている。
- ・処理排水も原水として使用。

他団体へのアドバイス

発注仕様書を作成する際に、要求する目的を明らかにし、発注者側の真意を事業者に正確に伝えることが肝要である。

人口 153,532人 (R4.1.1現在)

担当 水道工務課



施設全景

